

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成25年1月21日)

項 目	ページ
1 環日本海定期貨客船航路の運行状況等について 【経済通商総室(通商物流室)】……………1	1
2 第27回技能グランプリへの出場について 【雇用人材総室(労働政策室)】……………3	3
3 「年末の総合相談窓口」の結果について 【経済通商総室(経営支援室)、雇用人材総室(労働政策室)】……………4	4
4 平成24年度鳥取県経営革新大賞表彰結果について 【産業振興総室(新事業開拓室)】……………5	5
5 (地独)鳥取県産業技術センターにおける関西広域連合区域内企業等に対する機器利用等の割増料金解消について 【産業振興総室(産学金官連携室)】……………6	6
6 東京アンテナショップ・レストランのリニューアル・オープンについて 【市場開拓課】……………7	7

商 工 労 働 部

# 環日本海定期貨客船航路の運航状況等について

平成25年1月21日  
 経済通商総室  
 通商物流室

## 1 航路の利用状況

### (1) 旅客

- ・東海～境港の2012年の旅客数は25,816人となり前年比10%、2,536人増加した。これは韓国人観光客の大山登山ツアー、サイクリングツアーや企業インセンティブ旅行により夏期まで増加の趨勢をみせていたが、領土問題の影響、韓国仁川空港～ウラジオストク空港間の航路就航等の影響により小幅増に留まったものと考えられる。
- ・境港の利用者の国籍別を見ると、就航以来の総計では韓国人が83.5%、日本人が8.1%、ロシア人が7.0%、その他が1.4%となった。

### (2) 貨物

- ・境港の2012年の取扱貨物量は8,467トンとなり、前年比34%、2,189トン増加した。これは、建築資材等のウラジオストク向け貨物の増加によるものである。
- ・一方、日韓間の貨物は増加傾向にあるが、就航以来の貨物全体の総計では4.8%（4,319トン）、ウラジオストクから境港向けの貨物も3.7%（3,242トン）に留まっている。

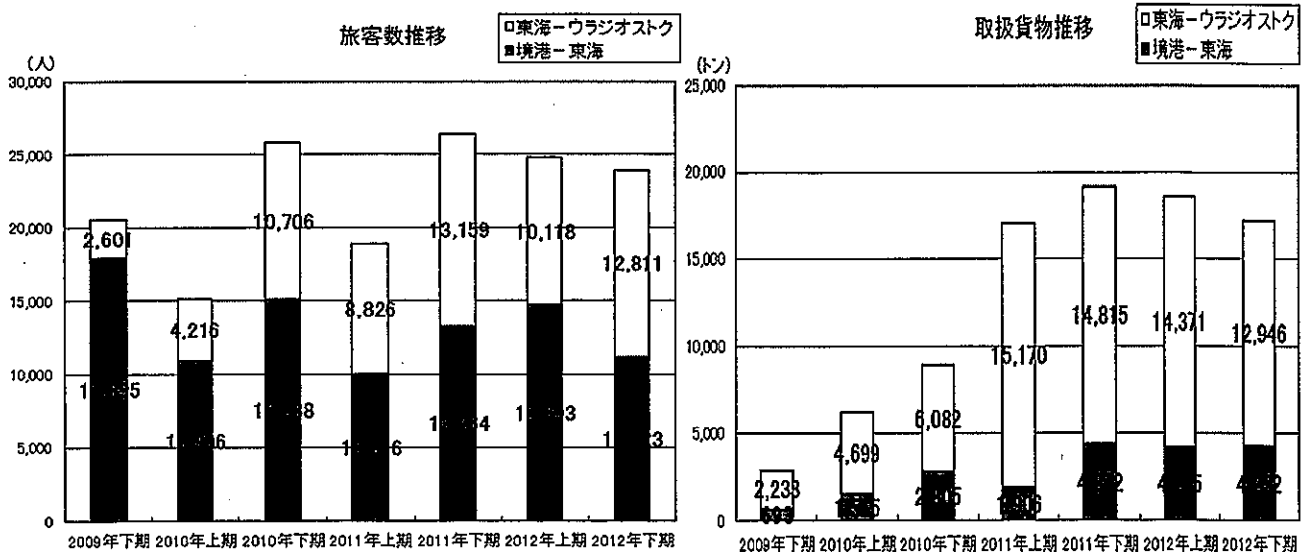
## ■就航以来の半期毎の運航実績（2009年6月29日～2012年12月31日）

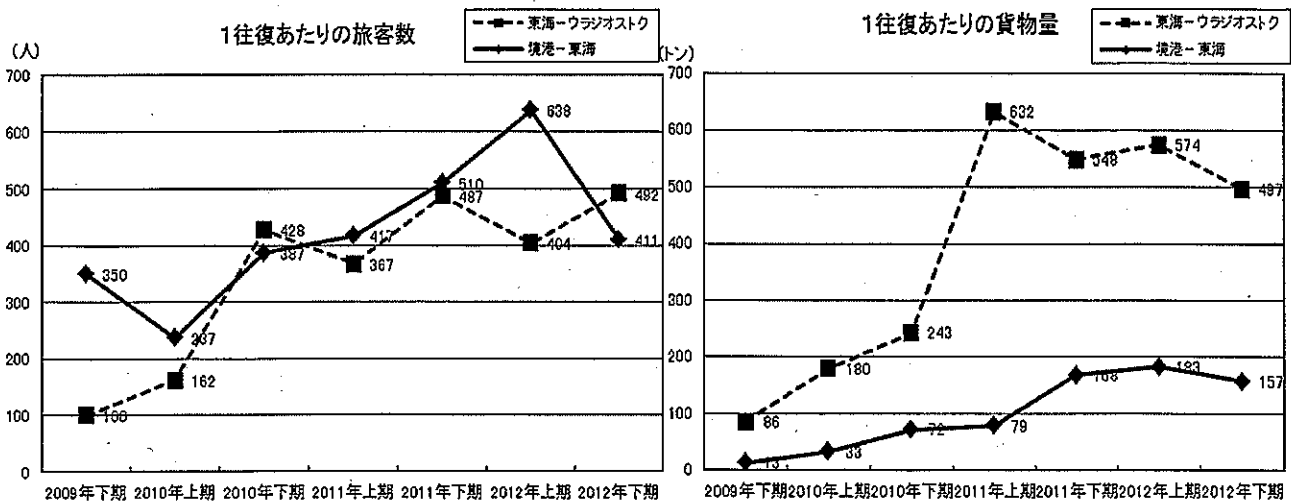
※韓国東海市まとめ

区 分	境港～東海（貨物はウラジオストク含む）		東海～ウラジオストク	
	往復	1往復あたり	往復	1往復あたり
2009年（7～12月） 77往復	51往復	1往復あたり	26往復	1往復あたり
旅客数	17,895人	350人	2,601人	100人
貨物量	693トン	13トン	2,233トン	86トン
2010年 136往復	85往復	1往復あたり	51往復	1往復あたり
旅客数	25,994人	305人	14,922人	292人
貨物量	4,320トン	50トン	10,781トン	211トン
2011年 101往復	50往復	1往復あたり	51往復	1往復あたり
旅客数	23,280人(0.89)	465人(1.52)	21,985人(1.47)	431人(1.47)
貨物量	6,278トン(1.45)	125トン(2.50)	29,985トン(2.78)	587トン(2.78)
2012年 101往復	50往復	1往復あたり	51往復	1往復あたり
旅客数	25,816人(1.10)	516人(1.10)	22,929人(1.04)	449人(1.04)
貨物量	8,467トン(1.34)	169トン(1.35)	27,317トン(0.91)	535トン(0.91)
総合計 415往復	236往復	1往復あたり	179往復	1往復あたり
旅客数	92,985人	394人	62,437人	348人
貨物量	19,758トン	83トン	70,316トン	392トン

※（ ）内は前年実績に対する増減

※2010年9月26日より、東海～境港間を週2航次⇒週1航次に運航スケジュール変更

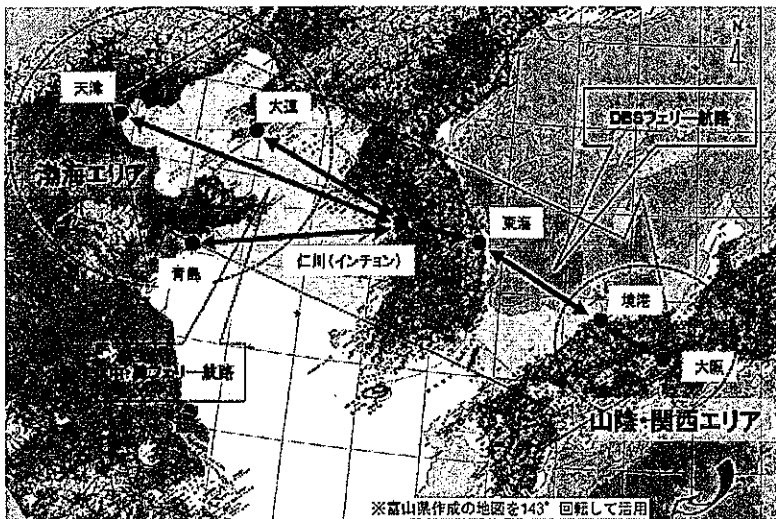




## 2 DBSクルーズフェリー社の現況

- ・2012年の第3四半期（1月～9月）までの売上げは順調に推移していたが、アジアナ航空の韓国仁川空港～ウラジオストク空港間の航路就航等の影響を受け、10月以降韓国～ロシアの旅客が減少、またAPEC後に韓国からロシアへの車の輸出が減少したこと等により、第4四半期（10月～12月）の売上げは減少し、前年対比で微増に留まる見込みである。
- ・航路の認知度向上により利用は増加してきたものの、今後、東草～ザルビノ・ウラジオストク航路等他社による競合航路の開設が予定されていることなどから、航路の定着や安定は予断を許さない状況である。

## 3 DBS航路を活用した山陰－中国渤海地域企業間（天津・大連・青島等）の小口貨物単位ダイレクト輸送（ドア・ツー・ドア輸送）の実用化に向けたトライアル輸送の実施



### 【トライアル輸送ルートの特徴】

#### ■ルート

- DBS フェリー航路等国際フェリー網を利用し、山陰・関西エリアと中国渤海地域を直線（最短距離）で結ぶ

#### ■輸送内容

- 製品、部品、材料を小口単位で荷主までダイレクト輸送（ドア・ツー・ドア輸送）
- フェリーの特性である高品質輸送（振動・衝撃が少ない）により電子・精密機器等の輸送も可能
- フェリーの定時性を活かした正確なリードタイム

### (1) トライアル輸送事業概要

輸送期間	平成24年12月23日～28日
受託者	ヤマトパッキングサービス(株) (山陰流通トリニティーセンター)
貨物	榎鶴見製作所米子工場 (真空ポンプ部品輸入 (3ケース))
輸送ルート	① 中国天津→[中・韓フェリー]→②韓国仁川→[トラック]→③東海→[DBS]→④境港

### (2) 今後の展開

- ・受託者において年度内にトライアル輸送の課題（輸送品質、リードタイム、コスト、通関状況等）を検証し、県は既存ルートと比較した当該ルートの優位性や実用可能性について確認する。
- ・当該ルートの優位性が確認できれば、DBS航路を基軸とする境港発の国際フェリー・RORO船網を活用した輸送ルート及び輸送サービスの多様化など地域企業への境港の利便性が高まることから、日韓間の貨物誘致を含め利用促進に努める予定である。

## 第27回技能グランプリへの出場について

平成25年1月21日  
雇用人材総室労働政策室

熟練技能者が技能の日本一を競い合う第27回技能グランプリが、2月に千葉市等で開催されます。この大会に本県から出場する選手が決定しました。

### 1 第27回技能グランプリの概要

- (1) 開催 平成25年2月22日(金)～25日(月)
- (2) 会場 幕張メッセ(千葉市美浜区)等
- (3) 競技種目 30職種(建築配管、日本料理、フラワー装飾、建築大工、旋盤等)
- (4) 選手数 5人(建築配管1人、日本料理3人、フラワー装飾1人)
- (5) 表彰 職種ごとに1位(1人以内)、2位(3人以内)、3位(3人以内)、敢闘賞(若干名)
- (6) 主催 中央職業能力開発協会、(社)全国技能士会連合会

### 2 選手

職種	氏名	住所地	年齢	所属
建築配管	かとう よしかず 加藤 義一	鳥取市	46	日新工業(有)
	いわもと えいじ 岩本 栄二	湯梨浜町	42	(有)養生館
日本料理	たなか てつや 田中 哲也	鳥取市	48	白兔会館
	ひらの だいき 平野 大樹	鳥取市	36	山紫苑
フラワー装飾	みはた たえこ 三幡 妙子	鳥取市	33	(有)フラワーショップヨシダ

県内で活動している特級、1級、単一等級の技能士の中から、県職業能力開発協会長が中央職業能力開発協会長へ推薦する。

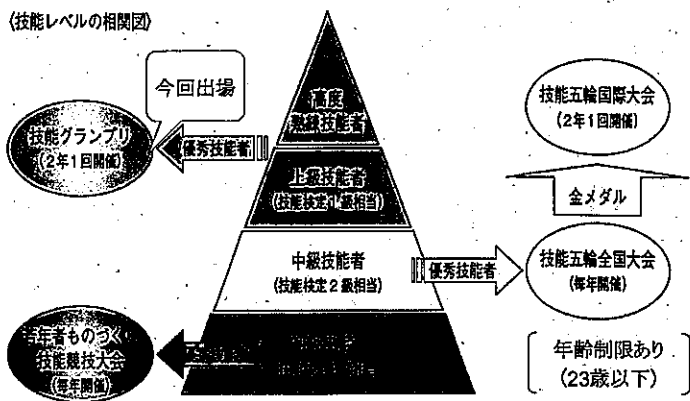
#### ※技能グランプリとは

- ・特級、1級、単一等級の技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的に、昭和56年度から開催(平成14年度から隔年開催。)
- ・これまでの出場状況  
【選手数】延べ80人(建築大工17人、日本料理17人、広告美術13人、和裁11人ほか)  
【成績】1位:4人(建築大工2人、家具2人)、2位:3人(家具3人)、3位:8人(建築大工3人、かわらぶき2人、家具1人、建築配管1人、日本料理1人)
- ・前回(平成23年)大会での本県選手の成績  
4人が出場し、1人(建築配管)が敢闘賞に入賞した。

【前回(平成23年)大会の様子 建築配管】



【技能グランプリの位置づけ】



## 「年末の総合相談窓口」の結果について

平成 25 年 1 月 21 日  
 福祉保健課  
 暮らしの安心局住宅政策課  
 雇用人材総室労働政策室  
 経済通商総室経営支援室

県内産業の厳しい雇用情勢等を踏まえ、離職される方、求職中の方、生活に困窮している方、資金繰りでお悩みの中小企業の方などを対象に、行政機関等が業務を停止している年末に総合相談窓口を開設しました。その結果は、次のとおりです。

### 1 日時

12月29日(土)・30日(日) 8:30~17:15

### 2 場所

県内3か所(県庁、中部総合事務所、西部総合事務所)

### 3 結果

- ・相談件数は延べ 19件。(相談者 14人) ※前年度は延べ42件(相談者29人)
- ・うち三洋CEBUに関連するもの 0件、日立金属に関連するもの 1件。
- ・通常の相談以外に、「離職者に〇〇の資格者がいれば求めたい」という人材探しの相談もあった。

#### <主な相談内容>

- ・近く(来年3月)退職予定だが、求人倍率が0.6と低く、再就職が心配。  
 対応:ミドル・シニア仕事ぶらざと市に求職登録することを勧めた。
- ・倒産により現在の住まい(会社の寮)から退去せざるを得ない。公営住宅はなんとかならないか。  
 対応:特別に入居を認める場合に該当すると判断し、1月4日に入居できるようにした。
- ・自営業だが現在療養のため休業中。生活が苦しいので、生活福祉資金の内容を教えてください。  
 対応:制度を説明し、居住地の社会福祉協議会に相談していただくよう伝えた。
- ・アパート経営をしているが、空室が多く赤字のため、金融債務の返済が厳しくなっている。借換えや経営対策などについて相談したい。  
 対応:(相談当日に相談を受け付けている)商工会議所の相談窓口を案内した。

【相談内容別相談件数】相談者14人

会場	職業	生活福祉資金等	生活保護	住宅	制度、融資	その他	計	うち	
								三洋CEBU	日立金属
県庁	3件	1件	2件	2件	0件	1件	9件	0件	1件
中部総合事務所	0件	1件	1件	0件	0件	0件	2件	0件	0件
西部総合事務所	0件	2件	0件	4件	2件	0件	8件	0件	0件
計	3件	4件	3件	6件	2件	1件	19件	0件	1件

# 平成24年度鳥取県経営革新大賞表彰結果について

平成25年1月21日  
産業振興総室  
新事業開拓室

県では、経営革新計画を終了した企業のうち他の模範となるものを顕彰し、広く周知すること及び計画未策定企業に対し計画策定の取組を促すことを目的として、平成18年度から「鳥取県経営革新大賞」の表彰を行っています。このたび、下記のとおり平成24年度の受賞企業を決定し、表彰式を開催しました。

また、新商品開発に関する講演会を併せて開催しました。(公益財団法人鳥取県産業振興機構の主催)

## 記

### 1 表彰企業

【知事表彰】(5社)

賞名	企業名	所在地
経営革新大賞(グランプリ)	株式会社旺方トレーディング	鳥取市
技術革新賞	株式会社かわばた	江府町
市場開拓賞	株式会社ケンセツ	米子市
地域貢献賞	有限会社オールドニュー	米子市
企画デザイン賞	有限会社Reindeer(レインディア)	米子市

【特別表彰】(知事表彰の趣旨に御賛同いただいた関係機関による表彰:4社)

賞名	企業名	所在地
中国経済産業局長賞	株式会社Trees(ツリーズ)	鳥取市
TKC中国会鳥取県支部長賞	株式会社キラら・きっず	湯梨浜町
中小企業診断士協会鳥取支部長賞	有限会社亀井堂	鳥取市
鳥取県産業振興機構理事長賞	有限会社小川養鶏場	大山町

\* 経営革新計画承認企業480社(H24.12.31現在累計)のうち、H23.4.1~H24.3.31に計画終了した46社を審査対象として選定した。

### 2 全体概要

- (1) 日時 1月17日(木)午後1時から午後5時まで  
(2) 会場 ホテルサンルート米子 芙蓉の間  
(3) 内容 ①表彰式 13:00~14:30  
・知事表彰5社及び特別表彰4社を表彰  
・受賞企業2社による事例発表  
②講演会 15:20~17:00  
演題:『オンリーワン商品開発の秘訣』  
講師:若林 克彦(わかばやし かつひこ)氏  
ハードロック工業株式会社(東大阪市) 代表取締役社長  
(4) 参加者 120名

(参考)

—経営革新計画とは—

事業者が新事業活動に取り組み、経営目標を設定し、経営の相当程度の向上を図ることを目的として策定する3~5年間での事業計画。

(地独) 鳥取県産業技術センターにおける関西広域連合区域内企業等に対する  
機器利用等の割増料金解消について

平成 25 年 1 月 21 日  
産 業 振 興 総 室  
産 学 金 官 連 携 室

このたび、地方独立行政法人鳥取県産業技術センターは、平成 25 年 1 月 1 日から関西広域連合区域内企業等に対する割増料金を解消しました。

1 背景

本県が加入している関西広域連合において、同連合区域内企業等の利便性向上を図るため、本年度より「工業系公設試験研究機関における機器利用等手数料に関する関西広域連合区域内企業等に対する割増料金の解消（※）」を実施することとなった。

本県もその趣旨に賛同し、取り組むこととしたもの。

(※) 自府県市以外の利用者に対して設定している機器利用料、試験・分析手数料の割増について、  
関西広域連合区域内企業に限って、自府県市内の利用者と同じ扱いとする取組み。

2 割増料金の格差解消実施状況

関西広域連合区域内全ての工業系公設試験研究機関の割増料金解消を実施済み。

《格差解消実施状況》

	鳥取県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	徳島県	大阪市	京都市
割増率	2 倍	2 倍	1.5 倍	料金割増	料金割増	1.2 倍	2 倍	1.3 倍	2 倍
格差解消 実施時期	25. 1. 1	24. 4. 1	24. 4. 1	制度なし	制度なし	24. 4. 1	24. 4. 1	25. 1. 1	24. 10. 1

3 その他

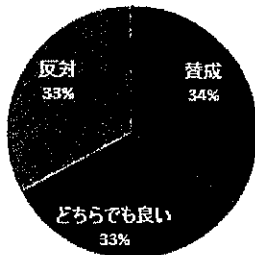
各機関が保有する開放機器やサービス、料金、技術支援情報などを一覧できるホームページを関西広域連合において開設しているため、県内企業への情報提供を行い、活用を促すこととしている。(ホームページアドレス <http://www2.tri-osaka.jp/ku/public/>)

《参考》

○格差解消実施に際し事前に行った鳥取県内企業へのアンケート結果

県外割増料金の撤廃について、賛成の企業(34%)は、主に関西地域の機器も割安で利用できることのメリットを感じており、反対の企業(33%)は、主に関西企業の利用増に伴うサービス低下を懸念している。

〔設問〕 鳥取県産業技術センターが県外割増料金を撤廃することについて



項目	回答数	割合
賛成	19	34%
どちらでも良い	18	33%
反対	18	33%
合計	55	

# 東京アンテナショップ・レストランのリニューアル・オープンについて

平成25年1月21日  
市場開拓課  
東京本部

平成25年2月4日（月）から、東京アンテナショップのレストランが下記のとおりリニューアル・オープンします。

## 記

### 1 名称の変更

旧名称 「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」

新名称 「トットリーネ」（鳥取いいね!）

### 2 リニューアル・オープン日

平成25年2月4日（月）

※前日の定休日に看板等の付け替えの予定です。

### 3 これまでの経緯

○平成20年8月、全国各県のアンテナショップレストランの中で、初めてイタリアンの店としてオープン。

○オープン当初は、目新しさもあり月平均約1,700人の利用、6,000千円の売り上げがあったが、平成24年度には月平均約1,400人の利用、4,000千円の売り上げに落ち込んできた。

※原因として、高額家賃（負担金）等を補うために設定した高級路線の価格帯が受け入れられなかったことがあるものと思料する。

○この度、幅広いお客様に受け入れられる価格設定と1階物産店舗とのさらなる連携を期して、リニューアル・オープンする。

### 4 運営内容の変更

○「鳥取らしさ」を感じる料理に県食材をさらに活かすため、イタリアンにこだわりすぎない幅広い対応が可能なスタイルへと脱皮する。

○1階（物販店）と共通した食材を扱うことなどで連携を強化する。

○従来の雰囲気そのままに、親しみやすいカジュアルな料理と価格にする。

○運営内容の変更に伴いスタッフも変更する。



「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」が次のステップ「トットリーネ」(鳥取いいね!)へ

(鳥取県東京アンテナショップ レストラン)

(お知らせ)

「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」をご利用頂きましたお客様、ご協力を賜りました県内外の企業・生産者の皆さま、オープンより4年半、同店に温かいご支援を頂き、誠に有難うございました。

「オステリア・モンテマーレ・トットリーネ」は全国各県のアンテナショップのレストランの中で、初めてイタリアンとして平成20年8月にオープン致しました。オープン当初から各種マスコミに取り上げて頂き、鳥取県が誇る新鮮素材の海の幸・山の幸(モンテ・マーレ)を通じて、東京を中心とする関東の多くの皆さまに「鳥取県」をPRする事ができました。またオープン以降、私たちと同じようなスタイルを提案するアンテナショップのレストランが増えてきたことは、私たちが提案したスタイルが、お客様に新鮮さをもって受け入れられるものであったと大変嬉しく思っております。

そこで鳥取県アンテナショップといたしましては、皆さまがアンテナショップにお求めの形、ご期待の想いをより色濃く表現すべく、これまでのイタリアンから、「TOTTORI CUISINE」(キュージーヌ(仏)は料理の意)として、新たにご提案させて頂くことになりました。

より「鳥取らしさ」を感じる料理のおもてなし、また、1階物販「食のみやこ鳥取プラザ」とのさらなる密な繋がりを大切に、新たなスタイルで、従来の洋風の雰囲気はそのままに、親しみやすいカジュアルな料理と価格で、平成25年2月4日(月)より、レストラン「トットリーネ」として新たにスタートいたします。

これからの「トットリーネ」がまさに『鳥取いいね!』と言われるよう努力すると共に、より一層心通う“美味しい”時間を皆さまにお届けして参りますので、新しい「トットリーネ」を何卒よろしく願い申し上げます。

平成25年1月吉日

株式会社ホテルセントパレス倉吉  
代表取締役 名越宗弘

平成25年2月4日(月) OPEN

「1月31日(木)まではいつものお味で、イタリアン専門店として通常通り営業」



レストラン トットリーネ  
**TOTTORINE**  
「鳥取いいね!」

営業時間 11:30~14:30(ランチ)  
14:30~16:30(ティー)  
17:30~21:00(ディナー)

定休日 日曜・祝日・年末年始

2月1日(金)、2日(土)は臨時休業

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-4 SNTビル2F  
TEL: 03-5537-2550 FAX: 03-5537-2570  
E-mail: monte-mare@stpalace.jp  
HP: http://r.goope./o-n-mtotorine/top

【メニュー例】

ランチ

パスタランチ(サラダ、パン付き)	-----	¥1,000
鳥取県産野菜のカレー(サラダ付き)	-----	¥1,000
本日のランチ(サラダ、パン付き)	-----	¥1,400

ティータイム

デザート・セット(お飲み物付き)	-----	¥600
------------------	-------	------

ディナー

コース料理(AとBの2種類)	-----	¥2,800、¥4,700
アラカルト(単品料理)	-----	¥800~
本日のおすすめ料理	-----	¥1,200~
		(税別)

【新スタッフ紹介】

新店長：水谷芳樹(すいたに よしき)

現在、ホテルセントパレス倉吉 宴会副支配人  
東京のホテルや会館(フォーシーズンズホテル椿山荘東京など)  
で料飲サービスを学び、平成18年10月 ホテルセントパレス倉吉 入社。

資格:JSAシニアソムリエ, HBAシニアパーテナー  
HRS一級サービス士

新調理長：杉岡昌人(すぎおか まさと)

現在、ホテルセントパレス倉吉 レストラン調理長  
大阪で調理を学び、鳥取の大山レークホテル調理長を歴任。  
その後、平成23年9月 ホテルセントパレス倉吉 入社。

# こらぼdeジャンプ!

2013. 2.7(木)

11:00~17:30

とりぎん文化会館

(鳥取市尚徳町101-5)



平成24年度とっとり農商工  
こらぼ事例発表会  
～連携から生まれる新たなビジネスチャンス～

## 講演会【小ホール】

12:30 / 開場

13:00 / 開会

13:10 / 基調講演

演題:『源吉兆庵の鳥取県での新たな挑戦!!』

講師: 岡田 憲明氏 (株)源吉兆庵 代表取締役 副社長)



株式会社 源吉兆庵  
代表取締役 副社長 岡田憲明氏

14:50 / 県内事例発表

○六次産業化法に基づく事業計画認定事例

「無胞子ヤナギマツタケの量産化とそれを用いた新商品(ご飯の素)の開発事業」  
発表者: 菌興椎茸協同組合(鳥取市)



○鳥取県農商工連携促進ファンド事業活用事例

「本マグロ日本一境港発!マグロ魚醤プロジェクト」  
発表者: 連携体/(株)丸綜(米子市)・山陰旋網漁業協同組合(境港市)

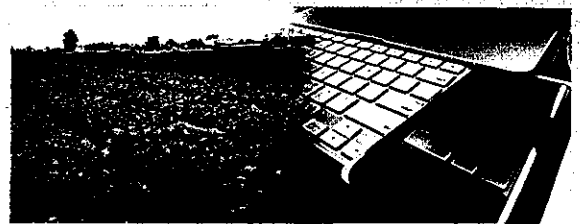


15:50 / 農業IT化セミナー

演題:『農業分野でのクラウド活用事例』

講師: 山崎 富弘氏(富士通(株))

ソーシャルクラウド事業開発室サービス開発統括部  
シニアディレクター(食・農クラウド担当)



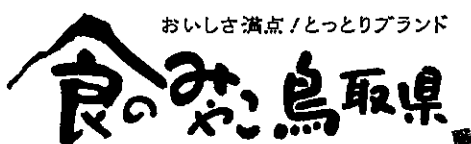
16:40 / 閉会

## 展示商談会【フリースペース・小ホール前】11:00~17:30

農商工連携・地域資源活用による商品の展示商談会

一斉試食タイム(11:00~13:00) 新商品・おいしい商品大集合~一般来場者大歓迎!~

6次産業化に関する相談会も同時開催(鳥取6次産業化サポートセンター)



主催/鳥取県

どなたでも参加できます!  
参加費無料!

# 株式会社 源吉兆庵

創業1947年（昭和22年）、岡山県岡山市に本社を置く和菓子製造販売会社。

四季の果物を使用した創作性の高い和菓子を展開する。

グループに菓匠清閑院、日本橋屋長兵衛、西洋菓子鹿鳴館などがある。

「お届けしたい四季の和菓子、“Wagashi”の心を世界へ」という企業理念のもと、

日本のみならず積極的な海外展開も行い現在では、

アメリカ・ニューヨーク5番街、イギリス・ロンドンピカデリーなど世界の主要都市に店舗を構えている（国内約135店舗、海外15店舗）。

生産拠点は岡山県内に、藤田工場、妹尾工場、東岡山工場（物流センター併設）の3工場がある。このたびの米子工場が同社初の県外生産拠点となる。

企業立地進出協定調印式の記者会見で「鳥取県の農産物を活用していきたい」とのコメントを残されており、今後県内の農業者との農商工連携が期待される。

## ～農商工連携とは～

農商工連携とは、地域経済の基盤である農林漁業者と中小企業者がお互いの強みを持ち寄り、共同で新たな商品・サービスの開発等に取り組むことです。食品をはじめ、化粧品や観光サービスといった一般のかたに身近なものから、餌料や情報・流通システム等、農林水産業の現場で活用する新技術・サービス等、様々な取組が全国で進められています。

### 【後援】

農林水産省中国四国農政局、経済産業省中国経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構中国支部、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、地方独立行政法人鳥取県産業技術センター、公益財団法人鳥取県産業振興機構、鳥取商工会議所、倉吉商工会議所、米子商工会議所、境港商工会議所、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、全国農業協同組合連合会鳥取県本部、鳥取県農業協同組合中央会、鳥取いなば農業協同組合、鳥取中央農業協同組合、鳥取西部農業協同組合、鳥取県森林組合連合会、鳥取県漁業協同組合、国立大学法人鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、株式会社日本政策金融公庫鳥取支店、株式会社日本政策金融公庫米子支店、株式会社山陰合同銀行、株式会社鳥取銀行、鳥取信用金庫、倉吉信用金庫、米子信用金庫（順不同）

## こらぼdeジャンプ!「平成24年度とっとり農商工こらぼ事例発表会」参加申込書

◆日時：平成25年2月7日(木) 11時～17時

◆場所：とりぎん文化会館 小ホール・フリースペース

ご所属（企業・団体名など）	所在地	連絡先電話番号	連絡先ご担当者名
		( )	
		—	

お名前	部署・役職など	お名前	部署・役職など

■申込方法：上記に必要事項を御記入の上、FAX あるいは同内容をメールでお送りください。

■申込期限：1月31日（木）（空席がある場合には当日受付も致しますが、なるべく事前のお申込みをお願いします。）

■参加申込・お問合せ 鳥取県商工労働部産業振興総室新事業開拓室 鳥取県鳥取市東町1丁目220番地

TEL:0857-26-7243 ファクシミリ:0857-21-0609 E-mail:yamane\_y@pref.tottori.jp

ホームページ：http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=174124

**FAX.0857-21-0609**

〆切1/31(木)